

事業の内容および活動の成果に関する写真（対象期間：2015年2月24日～2016年2月29日）

タジキスタン共和国

「ドゥシャンベ市における障がい児のためのインクルーシブ教育推進事業（フェーズ2）」

（特活）難民を助ける会

	
様々な障がいのある生徒が学べるように、支援学級には車いすや学習教材等を供与した。 （2015年9月3日）	学校No. 54 の校舎に設置したスロープ。歩行が困難な生徒も校舎内の行き来が自由になった（2016年3月4日）
	
教員研修にて、ドゥシャンベ市教育委員会サルビノス氏（中央）と教員の間で活発な意見交換が行われた（2016年2月19日）	通常学級にて学習の補助をするチューター（右から3番目）。男児は通常学級に行くのを毎回楽しみにしている（2016年2月9日）
	
インドでインクルーシブ教育を推進している団体に所属する専門家を招いてパネルディスカッションを開催。教育省や学校関係者や障がい当事者がタジキスタンのインクルーシブ教育の課題を議論した（2015年9月23日）	学校No. 53の校舎のバリアフリー化工事終了後、12歳で初めて就学し、現在1年生のクラスで学んでいる男児。母親の補助のもと車いすで通学している。担任も男児の学習指導に意欲的である（2015年12月23日）